

文字と式 1・文字を使った式

**2** 文字を使った式の表し方(その2)

(1 / 5) ■ 商の表し方⑦ー分数を含む式(その5) ■

約分のある計算(2) ÷ 整数

— ●★解法の技術★の学習のしかた● —

- (1) 下の答案を理解し、「考え方」を覚えましょう。／覚えたら、.....
- (2) 模範解答を見ないで、「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。  
(答案を見ながら書くとは勉強になりません。一度、「考え方」を頭の中に入れることが大切です。)

★解法の技術★

次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

(1)  $\frac{3}{5}xy \div 6x$

(2)  $(-4a) \div 6$

【考え方】(2) 分数を含まない文字式の商は、わる数を分母とする分数で表します。

(例)  $a \div b = \frac{a}{b}$ ,  $b \div a = \frac{b}{a}$  など

\* 文字が分数の横に書いてある形の式(係数が分数の式)では、文字は分子にかけておく。(仮分数の形にすることです)

(例) 係数が分数の文字式  $\frac{2}{3}b = \frac{2b}{3}$  ◀ 仮分数の形にする

[考える手順]

[答 案]

**1** 分数だけにする

$$(1) \frac{3}{5}xy \div 6x = \frac{3xy}{5} \div \frac{6x}{1}$$

◀ 整数は分母が1の分数にする

**2** 乗法にする

$$= \frac{3xy}{5} \times \frac{1}{6x}$$

◀ わる代わりに、わる数の逆数をかける

**3** 符号を計算する

$$= \frac{3xy \times 1}{5 \times 6x}$$

◀ 式は「1つの分数」の形にする

**4** 約分する

$$= \frac{1y \times 1}{5 \times 2}$$

◀ 約分は分子と分母の間だけでできる

**5** 分子、分母のそれぞれの積を求める

$$= \frac{y}{10}$$

(次のページへつづく) ↗

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【文字と式 No. 1 9 (1 / 5)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

↗ (前のページからのつづき)

1 商は分数で表す

$$(2) (-4a) \div 6$$

$$= -\frac{4a}{6}$$

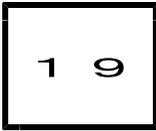
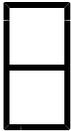
◀最初に、符号を計算し、

◀わる数を分母とする分数にする

2 約分する

$$= -\frac{2a}{3}$$

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その2)

(2 / 5) ■ 商の表し方⑦ー分数を含む式(その5) ■

◇ 《約分のある計算(2)÷整数》 **学力化** → /

★理解のチェック★

次の式を、文字式の表し方にしながら表しなさい。

(1)  $\frac{3}{5}xy \div 6x$

(2)  $(-4a) \div 6$

【考え方】(2) 分数を含まない文字式の商は、わる数を分母とする分数で表します。

(例)  $a \div b = \frac{a}{b}$ ,  $b \div a = \frac{b}{a}$  など

[考える手順]

[答 案]

1 分数だけにする

=

◀整数は分母が1の分数にする

2 乗法にする

=

◀わる代わりに、わる数の逆数をかける

3 符号を計算する

=

◀式は「1つの分数」の形にする

4 約分する

=

◀約分は分子と分母の間だけでできる

5 分子、分母のそれぞれの積を求める

=

(2)  $(-4a) \div 6$

1 商は分数で表す

=

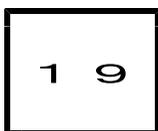
◀最初に、符号を計算し、

◀わる数を分母とする分数にする

2 約分する

=

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その2)

(3/5) ■ 商の表し方⑦—分数を含む式(その5) ■

◇ 《約分のある計算(2)÷整数》 **学力化** → / ,

★演習★【1】

次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

(1)  $\frac{4a}{x+y} \div (-2a)$

(2)  $-4x \div 2$

【考え方】(2) 分数を含まない文字式の商は、わる数を分母とする分数で表します。

(例)  $a \div b = \frac{a}{b}$ ,  $b \div a = \frac{b}{a}$  など

[答 案]

(1)  $\frac{4a}{x+y} \div (-2a)$

(2)  $-4x \div 2$

=

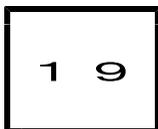
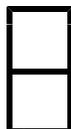
= \*

=

▲乗数のないかっこは省略する。

▲答の分母の1は省略する。

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

**2** 文字を使った式の表し方(その2)

(4 / 5) ■ 商の表し方⑦-分数を含む式(その5) ■

◇ 《約分のある計算(2) ÷ 整数》 **学力化** → / ,

★演習★【2】

次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

(1)  $\frac{6xy}{a+b} \div 4y$

(2)  $\frac{1}{16}xy \div (-8x)$

【考え方】 \* 文字が分数の横に書いてある形の式(係数が分数の式)では、  
文字は分子にかけておく。(仮分数の形にするということです)

(例) 係数が分数の文字式  $\frac{2}{3}b = \frac{2b}{3}$  ◀ 仮分数の形にする

[答 案]

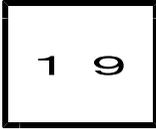
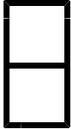
(1)  $\frac{6xy}{a+b} \div 4y$

(2)  $\frac{1}{16}xy \div (-8x)$

=

=

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その2)

(5 / 5) ■ 商の表し方⑦ー分数を含む式(その5) ■

◇ 《約分のある計算(2) ÷ 整数》 **学力化** → / ,

★演習★【3】

次の式を、文字式の表し方にしなさい。

(1)  $-6a \div 21b$

(2)  $28xy \div 8x$

【考え方】 分数を含まない文字式の商は、わる数を分母とする分数で表します。

(例)  $a \div b = \frac{a}{b}$ ,  $b \div a = \frac{b}{a}$  など

[答 案]

(1)  $-6a \div 21b$

(2)  $28xy \div 8x$

=

=